

御 挨拶



会長 甘竹秀雄

平成19年度の事業も、加盟校の皆様方・(財)日本卓球協会・日本学生卓球連盟をはじめとする関係各位、およびご協賛ご後援ご協力いただきました皆様方のおかげをもちまして無事に終えることができましたことを心より御礼申し上げます。

私事、兒玉前会長が日学連会長に就任されたため、急遽残任の1年間会長を仰せつかることとなり、瞬く間にこの1年が過ぎようとしていることを感じると同時に、一定の成果を達成出来たことを誇りに思い、重ねて全ての関係各位のご協力を敬意を表します。

さて本年度は卓球競技がユニバーシアードの正式種目となり、春代表選手選考会を実施し、男女各5名の代表選手を選考しました。関東学連より、男子・下山隆敬(早稲田大)、時吉佑一(早稲田大)、女子・照井萌美(早稲田大)、山崎知春(青山学院大)、伊藤みどり(筑波大)が代表、また、福岡春菜(日本大卒・中国電力)、渡邊裕子(中央大卒・ミキハウス)も含め、男女計7名を関東学連出身選手が占めました。更に代表スタッフは全員関東学連の役員が担当、チームリーダーに板垣賢一理事長、男子監督に鈴木一雄副理事長、女子監督に渋谷五郎副会長、総務に大仁田展子理事と田中優一幹事長が選出され、8月タイ・バンコクにて大いに活躍していただき、女子団体・女子ダブルス(福岡・渡邊組)が銀メダル、女子シングルス(福岡)、男子団体、男子ダブルス(坂本・大矢組)が銅メダルを獲得、近年の日本卓球界においては極めて顕著な成績を残していただきました。選手団の奮闘に対し敬意を表し、この輝かしい成績を皆様と共に喜びたいと思います。

また、本年度の日本学生卓球連盟主催大会において、関東学連が8種目全て制覇した事も大きな成果でした。夏の尼崎インカレにおいて、男子早稲田大、女子青山学院大が優勝、秋の名古屋全日学では、男子ダブルス徳増信弥・森田翔樹(専修大)、女子ダブルス阿部恵・山崎知春(青山学院大)が優勝、男子シングルス久保田隆三(早稲田大)、女子シングルス杉本枝穂(専修大)が優勝を飾りました。そして暮れの横浜全日学選抜では、男子下山隆敬(早稲田大)、女子劉一行(日本大)が栄冠を手にししました。まさに関東学連が学生卓球界をリードした1年でした。

本年度は事業改革の年であり、更なる強化・普及実践のスタートの年と言えます。新事業『関東学生チームカップ』は、加盟校全ての登録者が団体戦に出場でき、勝ち上がり方式のチャンピオンシップとして実現しました。参加選手にも好評で、今後更に改良を目指し発展させていきたいと思ひます。

また6月の理事会で、平成20年度の春季リーグ戦より、1部リーグの編成を8校とすることにいたしました。活性化を目指しながら、決して緩めずに強化面において妥協しない決意で取り組んでいただきたい、そうでなければ単なる底上げにすぎません。強い決意のもと、関東学生リーグが再び卓球界の頂上決戦の戦場となることを強く期待します。

強化面においては、8月より『プロジェクトFor横浜』を設置。渋谷五郎強化本部長のもと、2009年横浜で開催される世界選手権の代表を目指した強化の実践です。少しずつではありますが選手の意識が高まってきているとの報告があり、今後も更なる挑戦を続け、可能性のある限り最後まで戦い抜いていただくよう願ひします。

また11月には『韓国強化合宿』を初めて実施。高レベルの選手が多数在籍する、女子は論山女子商業高校および現代オスターチーム、男子は中遠高校との練習。関東学連上位男女各8校の監督より推薦された潜在能力の高い選手による強化合宿です。一定の成果が報告され、今後も内容を充実させ実施していただきたいと思ひます。

これまで多くの先輩方の努力により、輝かしい歴史と伝統を築き上げてきた本連盟が、5月12日『創立80周年記念祝賀会』を、東京プリンスホテルにおきまして盛大に挙行できましたことを心より感謝し、卓球を愛し関東学連の更なる発展を願う皆様に対しまして、今後ますますのご協力をお願い申し上げます、本事業報告書をもちまして1年のお礼とさせていただきます。